

公益活動
クローズアップ
2015

奄美大島法人会 女性部会



名瀬地区の小・中学校へ苗贈る 花から思いやりの心を

奄美大島法人会女性部会は、女性の視点での社会貢献活動として、「衣」「食」「住」に焦点を当て様々な取り組みをしています。その中の1つ、「住」（環境美化）に関する活動として「花いっぱい運動」に取り組んでいます。

これまで、奄美市内名瀬地区の保育所や幼稚園、施設等へ花をプレゼントしたり、地域の大きなイベント会場に花壇を設置してきました。

皆既日食に合わせ、平成21年9月にはフラワーロード実行委員会と協力して、市街地入口の国道沿いに色とりどりに咲いた花のプランターを設置し、観光客や市民の皆様をおもてなしの心いっぱいでお迎えし、暑い中、会員が当番制で水まきもしました。

平成22年からは、市内の小中学校14校に、毎年1月に花の苗とプランターをお届けしています。学校も春の行事や美化に向けて花を育てている時期でもあり、子供たちも先生方も心待ちにされているようです。

贈呈式では、「花を贈る思い」を伝えると同時に、「地球上で春に咲く花の色で一番多いのは何色でしょうか？」とクイズを出しながら、楽しく贈呈式を行っています。苗は明るく色鮮やかな黄色とオレンジのスマイルの仲間、ピオラを贈っています。

春に向けて生き生きと元気に育った花が、卒業式や入学式の会場を華やかに彩り、子供たちの成長を祝い、迎える喜びに華を添えています。

また、「奄美大島法人会女性部会」と書かれたプランターに美しく花を咲かせ、校門にずらりと並べてくれる学校もあり、道行く人達の目を楽しませてくれています。毎回、地元の新聞も取り上げてくださり、法人会の大きなPRにもなっているようです。

そして、2月の確定申告時期には、大島税務署へ可愛い花かごを届け、申告会場にも「はな」を添えています。

学校へ苗を届ける1月は、まだ肌寒く花の苗も寒さに震えているようですが、学校から届く子供たちのお礼の手紙を見るたびに、私たち女性部会員の心は温まり、来年の実施に向けて新たな意欲が湧いてきます。

「花や木を育て慈しむ心を通して、助け合うことの大切さや思いやりの心を育てることを目的とし、将来、心豊かで立派な社会人になってもらいたい」との思いから、学校へ花のプレゼントを続けてきました。こうした活動を続けることにより、教育委員会や学校との絆もより深まり、女性部会で取り組んでいる税の絵はがきコンクールや租税教室のお願いもスムーズに受け入れて頂いています。

今年は、この活動が認められ、市内の小中学校を対象にした花壇コンテストにおいて、主催の教育委員会から当女性部会へ審査員の依頼がありました。

これからも、「花」を通して「地域の子供たちが感性豊かで心優しい人間に成長し、社会でたくましく生きていけるように…」と願いながらこの活動を続けていきます。

